

2 消防広域化の現況



(平成 28 年 4 月 1 日 富士山南東消防本部開所式)

消防広域化のあゆみ

広域消防本部運用までの法改正等及び協議会等の変遷

平成 18 年 6 月	消防組織法の一部が改正され、「第 4 章市町村の消防の広域化」が追加される。(国)
〃 7 月	「市町村の消防の広域化に関する基本指針」が告示され、基本指針が示される。(国) <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主的な市町村の消防の広域化の推進に関する基本的な事項 ・ 広域化を推進する期間 ・ 推進計画に定める市町村の組み合わせ及び都道府県における必要な措置に関する基準 ・ 広域化後の消防の円滑な運営の確保に関する基本的な事項 ・ 市町村の防災に係る関係機関相互間の連携の確保に関する事項
平成 20 年 3 月	静岡県では、県全体を東部、中部、西部の 3 圏域消防本部を基本とした「静岡県消防救急広域化推進計画」を策定する。
平成 22 年 7 月	8 市 8 町（裾野市、長泉町、三島市、沼津市、清水町、熱海市、函南町、伊豆市、伊豆の国市、伊東市、東伊豆町、西伊豆町、下田市、松崎町、河津町、南伊豆町）が、消防の広域化を協議研究する任意協議会として「駿東伊豆地区消防救急広域化研究協議会」を設置する。
平成 24 年 3 月	「駿東伊豆地区消防救急広域化研究協議会」を解散する。
〃 5 月	三島市、裾野市及び長泉町で消防通信指令施設の共同整備、消防指令システム施設及び消防救急デジタル無線施設の共同整備及び消防広域化を検討していくことで合意し、「三島市、裾野市及び長泉町消防広域研究協議会」を任意協議会として設置する。
平成 25 年 4 月	「市町村の消防の広域化に関する基本指針の一部改正」が通知される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域化の人口要件の緩和 ・ 財政措置の延長 ・ 推進の期限の延長 ・ 重点地域の指定
平成 26 年 4 月	三島、裾野、長泉地区が「市町村の消防の広域化に関する基本指針」に規定する、消防広域化重点地域に指定される。

平成 27 年 4 月	地方自治法第 252 条の 2 の 2 第 1 項の規定により、消防通信指令施設に関する事務を共同で管理し、及び執行し、消防広域化の事務の管理及び執行について連絡調整を図り、並びに広域消防運営計画を共同で作成するため、「三島市、裾野市及び長泉町消防広域化推進協議会」を設置する。
〃 10 月	三島市、裾野市及び長泉町消防通信指令施設の共同運用を開始する。
〃 12 月	三島市、裾野市及び長泉町広域消防運営計画を作成する。
平成 28 年 1 月	地方自治法第 284 条第 2 項の規定により、「富士山南東消防組合」を設置する。
〃 4 月	富士山南東消防本部の運用を開始する。

消防広域化の効果

(1) 現場到着時間の短縮

消防ポンプ車・救急車の運用効果においては、災害通報受信後ただちに、直近署所から出動することが可能となったため、現場到着時間が短縮し、より迅速に対応することが可能となった。

また、広域化前の管轄区域（市町境）を越えた応援出動件数は、平成 27 年は年間 30 件であったが、平成 28 年は年間 330 件と大幅に増加した。

(2) 災害発生時における初動体制、増援体制の強化

災害現場では、初期段階でいかに多くの人員・車両を迅速に投入できるかが重要となる。この初動で出動できる緊急車両が、広域化前の裾野市 4 台、長泉町 3 台から、それぞれ 6 台に増加し、現場活動要員も 6～9 人増員となった。

また、管轄の緊急車両が不在のときでも、他署から迅速に駆けつけることが可能となった。

(3) 予防業務の強化

予防業務の専門化、高度化を図ることで、不特定多数の人が利用する建造物や危険物取り扱い施設の検査・指導をする予防業務の体制強化が図られた。

平成 27 年度は年間 653 件であった防火対象物への立入検査実施数は、平成 28 年度は年間 743 件と増加した。

(4) スケールメリットを生かした消防車両・資機材の整備

消防車両・資機材は、高価で維持管理にも多額の費用を要するため、単独の消防本部で運用するには財政的に大きな負担となる。そこで、広域化によるスケールメリットを生かし、計画的に整備を進めている。平成 28 年度は消防ポンプ車 1 台と救急車 1 台、資機材搬送車 1 台を更新することができた。

また、「はしご車」は三島市のみ、「化学車」は裾野市のみ保有であったが、広域化により共同で活用することが可能となった。このほか「水槽車」は、山間部での火災や高速道路での車両火災など、水利が不足する現場で活躍している。

市町境を越える出動件数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

出動地域 出動消防署	三島市	裾野市	長泉町	総数	前年	増減
合計 (件)	114	71	145	330	30	300
火災 出動	小計	6	8	6	20	20
	三島消防署		5	3	8	8
	裾野消防署	1		3	4	4
	長泉消防署	5	3		8	8
救急 出動	小計	107	60	132	299	30
	三島消防署		9	106	115	16
	裾野消防署	68		26	94	3
	長泉消防署	39	51		90	11
救助 出動	小計		1	3	4	4
	三島消防署			3	3	3
	裾野消防署					
	長泉消防署		1		1	1
その他 出動	小計	1	2	4	7	7
	三島消防署			4	4	4
	裾野消防署					
	長泉消防署	1	2		3	3

出動した地域ごとの前年比較

